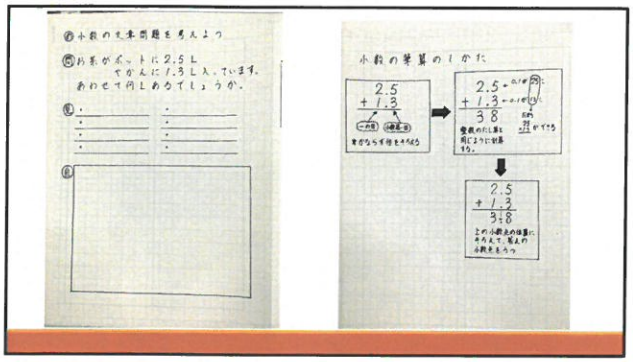

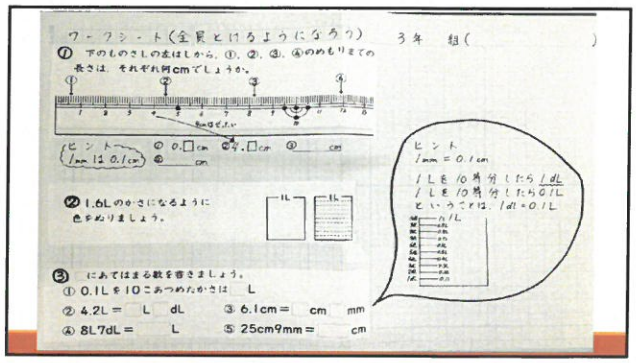

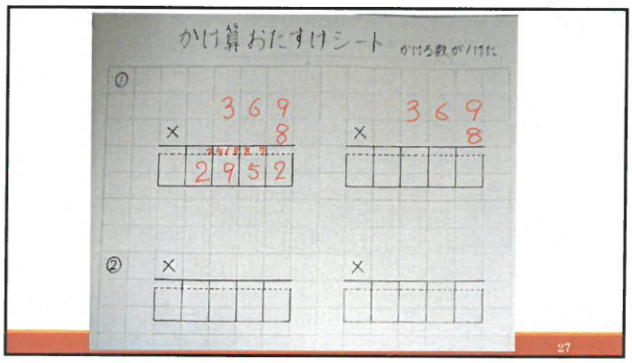

休憩

第三段階の支援として・・・

第三段階の支援の大前提として

対象とする児童が困りそうな場面を想定しておき、どのように乗り越えていくか本人と確認する→その後評価する

乗り越えられそうにない時に支援をすることで、自尊感情の育ちに繋げていく

社会に出ていくときのことを想定して伸ばさないといけない力を優先順位を決めてトレーニングしていく。

発達障害の特性に沿った支援を考える必要がある

色々試すのではなく、しっかりと児童の特性を見つめ、考え、一発で決めるイメージ